

5月24日(日)に行われた鏡石町長選挙において、当選を果たし、2期目がスタートした木賊町長。今回は、木賊町長の町づくりに対する思いや重点的に取り組む5つの課題事項、町民の皆さんへのメッセージ等をお伝えします。

1期目の4年間を振り返って

今、思うとアツという間の4年間であり、無我夢中で諸施策に取り組み、振り返る余裕がなかったように思います。特に、就任直後は、

て、国が進める阿武隈川緊急治水プロジェクトの中の「成田地区遊水地群整備事業」については、地権者の思いに寄り添いながら地権者説明会や国との交渉に臨み、現在では集団移転の2ヵ所の集団移転先の造成工事が間もなく完了する見込みとなっております。徐々にはありますが、皆さんの生活が見え始めたところではないかと思えます。

そして、キーワードに「信頼」と「スマイル(笑顔)、スピード(迅速)、シンプル(簡潔)」の頭文字である三つの「S」を基本に町政運営に取り組んできたところです。

2期目に臨むにあたって

1期目の4年間で人口減少と少子高齢化は進んでおり、すが、令和6年に住宅メーカーが発表した「住み続けたいまちランキング」で県内第1位や「住み心地ランキング」で県内2位となるなどの高評価をチャンスとして、さらにレベルアップしていかねばならないと痛感したところです。

また、阿武隈川緊急治水プロジェクトとしての成田地区遊水地群整備事業が進行中であり、地域の皆さんの生活安定と地域コミュニティ再編が急務であることや、「駅東土地区画整理事業」の推進による移住定住政策をはじめ、地域交通ネットワークとして都市街路「鳥見山公園線」の整備や、少子化対策としての子育て支援と教育環境の整備をはじめ、高齢者の生きがいづくりと健康長寿対策など多くの課題が山積していることからその課題に果敢に挑戦したいと考えています。

○新型コロナウイルス対策
○「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」としての「成田地区遊水地群整備事業」
○鏡石浄水場の開通式(令和4年10月10日)
○健康福祉センター、ほがらかんぐのオープン(令和5年10月10日)と施設の活用と維持管理

などの大規模プロジェクトに取り組みました。特に、令和元年の東日本台風による甚大な被害対策として、

町民の皆さんへ深いご理解とご支援により、前回に続き

「まちづくりは人づくり」と言われます。もとより浅学非才の身の私ですから、一人では何もできませんので、引き続き皆さんのご指導とご支援をお願いいたします。

「まちづくりは人づくり」と言われます。もとより浅学非才の身の私ですから、一人では何もできませんので、引き続き皆さんのご指導とご支援をお願いいたします。

木賊町長が重点的に取り組む5つの課題

01

人口減少社会における子育て支援と健康長寿対策

社会全体が人口減少の危機感を持って対策を講じていますが、鏡石町として、自然環境そして地理的な特長を生かした子育て支援対策の中で、子供を産み育てやすい環境整備をするなど、今からできることを実行していかねばならないと感じています。

また、高齢者が毎日生きがいを持って生活できる地域社会づくりに取り組む必要があります。

02

危機管理対策としての「成田地区遊水地群整備事業」への対応

この事業は、令和元年10月の東日本台風による浸水被害対策として、国が進める阿武隈川緊急治水プロジェクトの「成田地区遊水地群整備事業」について、被災住民の思いに寄り添いながら適切に対応していきたいと思います。

03

駅東土地区画整理事業と駅東口整備事業の推進

鏡石町の人口増加の大きな要因は、駅東土地区画整理事業によるものが大きいと見ており、さらに事業を推進するため、現在進めているパナソニックホームズとの連携協定による事業の推進に向けて取り組みます。

また、JR鏡石駅東口整備事業については、老朽化した「JR跨線橋」の改修が必要と見込まれることから、改修工事に合わせ「東西自由通路」として開設し、JR鏡石駅東口整備事業を具体化させることにより、JR鏡石駅を中心とした東西の中心市街地が整備されコンパクトで活気あふれる鏡石の実現に取り組めます。

04

地域交通ネットワークの整備と産業の振興

鏡石町は、郡山市、須賀川市に隣接、県南地区の白河市との交通アクセスも良く、広域的な交通ネットワークが整備されており、縦軸に国道4号、東北自動車道、JR東北本線、広域農免道が走り、横軸には、国道118号、県道成田鏡田線が走る交通至便な町であると思います。これをさらに、ほがらかん隣の「都市計画道路鳥見山公園線」の整備と北に須賀川市、南に矢吹町との接続による広域緊急防災道路として整備したいと思っています。

また、産業の振興では、鏡石の地場企業の振興はもとより、働く場の確保として新たな工業団地の設置に向けて、「工場適地」調査を行い、鏡石町の基盤を確固たるものとし、人口の流入による人口減少対策を図りたいと考えています。

05

公共インフラの老朽化対策と施設の統廃合

これまでも取り上げられてきた問題ですが、公共施設のそれぞれの設置目的を検証し、所期の目的が達成された施設は、廃止し取り壊すこと。老朽化により、建て替えが必要な施設については、その設置の必要性和規模、複合化、維持管理等、多面的に検討し、行財政改革の観点から慎重に行うものとしたと考えています。

木賊町長の座右の銘

「最善を尽くせ」

鏡石中学校の校訓です。
与えられたことに対し、「最善を尽して取り組んだかどうか」。その結果は、失敗しても、失敗から得られたものは大きいと思います。
中途半端に取り組んだ結果は、反省してもそれだけのものしか生まれません。
自分の思いをより具体的に形に表して計画し、詳しい工程表(見える化)を作り出し実行することが大事になってきます。
具体的な計画には、具体的な結果、反省が出てくるのだと思っています。



町議場にて職員へ訓示を述べる木賊町長